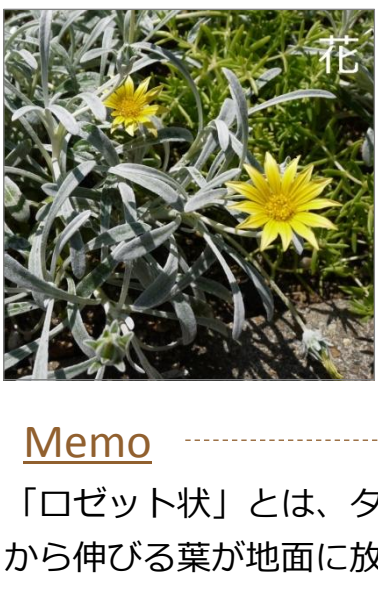
ガザニア

半落葉／多年草／地被類等／草本植物
／外来種・園芸品種

科　名　キク科（APGⅢ）

特　記　生長：やや速い

南アフリカ原産のガザニアは、ヨーロッパに渡り多くの園芸品種が作出された。細長い葉は銀色を帯び、一際大きな花を咲かせる。日が当っている間だけ開花する品種が多い。強健でよく繁茂し、草丈は膝下程度でロゼット状になるため、グラウンドカバーとしても利用される。



Memo

「ロゼット状」とは、タンポポのように、根際から伸びる葉が地面に放射状に広がる形態。

お手入れカレンダー

月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
花　期					■	■	■	■	■	■		
果　実	（種子を採らない場合は花殻を摘み取る）											
紅　葉												
施　肥		■	■	（緩効性肥料を少々）								
剪　定	■	■										■

好みの環境					
日当り	陽	○	○		陰
土　壌	乾	○	○		湿
寒　さ	強			○	弱
暑　さ	強	○			弱
潮　風	強	○			弱

観賞ポイント	姿	花	葉	紅葉	黄葉	実	香
		○					

ポイント

日当りと乾燥気味の場所を好み、多湿と寒さは苦手だが、強健で放任してもよく繁茂し花をつける。盛夏に花付が落ちるが、秋には再び花が増えてくる。霜の降りる地域では一年草扱いでもお薦め。

剪　定

花が終わった花殻と枯葉を摘みとると美観を保てる。繁茂し過ぎたら株を透かして風通しをよくするとよい。強剪定しても、地下茎や地表近くの茎を残せば、新たに芽を伸ばしてこんもりしてくる。

病虫害

過湿を嫌い、湿度が高いと、うどんこ病が発生しやすい。また、土壌が過湿になると根腐れすることがある。

SEKISUI HOUSE

COPYRIGHT©SEKISUI HOUSE,LTD. ALL RIGHTS RESERVED.